

2017年1月30日

報道関係者各位

UCDA認証「見やすいデザイン」取得のお知らせ

AGS株式会社（本社：さいたま市浦和区、代表取締役社長：石井進、以下当社）は、お客様向け情報誌「AGS通信第8号」の冊子版において、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会（以下、UCDA）が認証する「見やすいデザイン」を取得しましたので、お知らせいたします。

【背景】

高齢化社会が進展するなか、自治体・保険・金融などにおいて、帳票・パンフレットなどの印刷物やモニターに表示される大切な情報を、わかりやすく改善するユニバーサルコミュニケーションデザイン（UCD）※が求められています。

UCDAは、UCDを実現するために、「わかりやすさ」の基準を策定し認証する唯一の第三者機関です。

当社は、グループの企業理念『お客様とともにITで夢のある社会づくりに貢献します』を実現するための重要な要素であると捉え、UCDの取り組みを推進しています。

※ユニバーサルコミュニケーションデザイン（UCD）とは

既に知られているユニバーサルデザイン（より多くの人にとって使いやすいデザインや設計）の考え方を情報コミュニケーションに取り入れ、「見やすく、わかりやすく、伝わりやすい」デザインを実現するもので、UCDAが提唱し、普及・啓発活動を行っています。

【「見やすいデザイン」の認証について】

(1) 認証対象物の定義： 表示が見つらいことで、ユーザーのストレスにつながるもの

(2) 評価項目： a) 情報量…情報量として適切か
b) タイポグラフィ（文字）…文字の読みやすさ、可読性への配慮
c) 色彩設計…多様な色覚のユーザーへの配慮

(3) 認証取得の内容

- ①認証対象： AGS通信第8号（冊子版）
- ②認証番号： 1S1701001（1）
- ③認証マーク： 右図のとおり

**1S1701001(1)**

【AGS通信第8号冊子版イメージ（一部抜粋）】

2016年4月「障害者差別解消法」施行。企業に求められる対応とは？

2016年4月より「障害者差別解消法」が施行され、大きく2つの方向性が示されました。一つは「不当な差別的取扱いの禁止」です。障害を理由に入店・利用を拒否したり、事業者が提供するサービスに対して、不当な差別的取扱いをすることを禁止しています。

もう一つは「合理的配慮の提供」です。障害のある方から、社会的な生活やサービスを受ける際に、合理的配慮を求められたら、その必要に応じて合理的配慮を講ずることが求められます。

合理的配慮の提供
合理的配慮とは、障害のある方が、社会的な生活やサービスを受ける際に、合理的配慮を求められたら、その必要に応じて合理的配慮を講ずることが求められます。

不当な差別的取扱いの禁止
障害を理由に入店・利用を拒否したり、事業者が提供するサービスに対して、不当な差別的取扱いをすることを禁止しています。

合理的配慮の提供
障害のある方が、社会的な生活やサービスを受ける際に、合理的配慮を求められたら、その必要に応じて合理的配慮を講ずることが求められます。

ユニバーサルコミュニケーションデザインへの取り組みを開始しました。

AGSでは、商品、サービス、店舗などの分野を中心に、視覚・聴覚・言語・身体障害者に対するユニバーサルコミュニケーションデザインへの取り組みを開始しました。

UCDA 賛助会員

AGS通信 No.8

標的型攻撃対策、更なる一手 メール無害化ソリューション

インターネット分断だけでは足りない

標的型攻撃は、標的型攻撃対策として「仮想化技術を用いたインターネット分断（ダブルクラウド）」を組み合わせ、標的型攻撃の対策としてインターネット分断を行うことで、標的型攻撃のリスクを低減できます。

また、標的型攻撃は「ランサムウェア（身代金要求型マルウェア）」と呼ばれる。利用者のデータを暗号化した後、身代金を要求するマルウェア攻撃が横行しており、これらに対する対策として、メールの本文や添付ファイルを変換（無害化）して利用者の迷惑を防ぐ「メール無害化」技術が注目されており、有効な対策のひとつとして期待されています。

セキュリティと利便性のバランスが大事

メール無害化の代表的な方法として、無害化ソフトウェアを導入する。無害化ソフトウェアは、添付ファイルの暗号化、添付ファイルのウイルス検出、メール本文の暗号化などがあり、セキュリティと利便性のバランスが重要です。

無害化方法	特徴
添付ファイルの暗号化	添付ファイルの暗号化により、ウイルス検出が容易になる。
添付ファイルのウイルス検出	添付ファイルのウイルス検出により、ウイルス感染を防ぐ。
メール本文の暗号化	メール本文の暗号化により、メール本文の漏洩を防ぐ。
添付ファイルの暗号化とウイルス検出	添付ファイルの暗号化とウイルス検出を組み合わせることで、セキュリティと利便性のバランスが保たれる。

News 「ASPIクラウド・IoTアワード2016」で受賞

ASPIクラウド「第10回ASPIクラウド・IoTアワード2016」において、「セキュリティ」部門で、「ASPIクラウド・IoTアワード2016」で受賞しました。

ASPIクラウド「第10回ASPIクラウド・IoTアワード2016」で受賞しました。

AGS通信 No.8

【当社の概要】

名 称	AGS株式会社（東証一部 証券コード:3648）
代 表 者	代表取締役社長 石井 進
所 在 地	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷 4-3-25
設 立	1971年7月
資 本 金	1,398百万円
主な事業	情報処理サービス、ソフトウェア開発、 その他情報サービス、システム機器販売
U R L	http://www.ags.co.jp/

【AGS通信に関するお問い合わせ先】

AGS株式会社 営業統括部（担当：藤本）
TEL. 048-825-6177 FAX. 048-825-6082
E-mail. eitou.ml@ags.co.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

AGS株式会社 企画部（担当：小谷野、橋本）
TEL. 048-825-6079 FAX. 048-825-6959
E-mail. ir.ml@ags.co.jp

※ プレスリリースに掲載されている商品・サービスの価格、仕様、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。

以 上